

第5回 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

会 議 録

1. 会議名 第5回北杜市中部横断自動車道活用検討委員会
2. 開催日時 平成26年3月24日（月） 午後2時～午後3時30分
3. 開催場所 北杜市役所 西会議室
4. 出席者（敬称略）
出席委員：大山 勲、雨宮正行、原かつみ、輿水順彦、三井 茂、白倉秀雄、清水勲、
向 一字、進藤幸夫、長坂良一、小池明智、小幡 宏、細川 淳、中村 学、
坂本正輝、浅川一彦
欠席委員：仲澤幸雄、坂本伴和、浅川力三
事務局：伏見建設部長、清水建設部次長、土屋道路河川課長、道路河川課維持管理担
当 中田、小尾
会議録署名委員 長坂良一、雨宮正行
5. 議題
 - ① 開会
 - ② 委員長挨拶
 - ③ 議事
 - (1)まちづくりビジョンについて
 - (2)道路プラン策定に向けた考え方について
 - (3)その他
 - ④ 閉会
6. 公開・非公開の別 公開
7. 傍聴人の数 12名

8. 審議内容（司会進行：事務局）

1 開会

- ・事務局より開会の挨拶

2 委員長挨拶

- ・今回でまちづくりビジョンが最終的な形となる。
- ・今後、ビジョンを具体化するための取組を、地域住民と行政と一緒に進めていくために様々なことを考えていなくてはいけない。

3 議事

（検討委員会設置要綱第6条2項の規定により大山委員長に議長をお願いする。）

(1) まちづくりビジョンについて

- ・事務局より、資料に基づき説明。

（委員長）パブリックコメントや団体から出された具体的なアイデアなどの情報は今後、どう扱っていくのか。

（事務局）今後進める道路プランの中で具体的なものを検討して頂き、とりまとめていきたい。

（委員長）まちづくりビジョンが完成したから、北杜市のまちづくりが終了するわけではない。20ページの赤い修正箇所を具体的にどうすすめていくか、住民と行政が協働で行わなければ実は結ばない。次年度以降も継続して進めていって欲しい。

（委員）農協は地域農業のかなめである。六次産業化、21ページの農業と観光の項目に米は絶対に必要。農地はなるべく避け、山岳に道路を作って欲しい。先日の大雪で、高速道路のような道路がもっと欲しいと感じた。

（委員長）重要な農地などの色分けができるのか。水田の水路網ネットワークも重要であり、こういった情報を重ねて、道路プランを検討していく必要がある。

（事務局）優良農地への配慮は当然行わなければいけない事項である。農地や水路などの具体的な検討は、プランの中で行っていく予定である。

（委員）総論として、示されたまちづくりビジョンで良いと思う。

(委員) 20ページの今後の進め方案にある、道路プランの意味はなにか。

(事務局) 北杜市として将来のまちづくりの展望として必要なものをまとめているのがビジョンであり、ビジョンに基づいて、実行して進めていく具体的な項目が道路プランである。

(委員) どこを通すとかルートのことではないのか。

(事務局) ルートは市では決められない。今、B案という1km幅があり、例えばその中に優良農地があった場合に、それを守るのであれば避けて欲しいとか、様々なものについて、具体的な市の考えを整理するのがプランである。

(委員長) 今ここで言っているルートというのは線形。重要な資源等を避けるというような線形の修正を提案していくもの。ルートという言葉がうまく伝わらなければ変えることも。

1pの図-1について、例ではなく、まちづくりビジョンの中身に変えるべきである。

(事務局) 図については修正する。

(委員) 東北方面との観光の往来についてうたわれている部分はあるのか。

(事務局) 18ページ、19ページに東北地方を追加する。まちづくりビジョンの修正は、この東北地方の追加と、1ページの例をまちづくりビジョンの中身に変える、の2点。文言等の修正であり、最終確認は委員長にお願いし、ビジョン策定とすることでお諮りをお願いしたい。

(2)道路プラン策定に向けた考え方について

・事務局より、資料に基づき説明。

(委員長) まちづくりビジョンを具体化する内容をワークショップで審議し、市長へ提言する。

(事務局) 具体的な内容については、次回、案を出し審議して頂きたい。

(委員長) ワークショップは例えばテーブルに地図を載せて多様な建設的な意見を出し合い議論していくもの。

(委員) 今日非常にまとまった文書ができた。ただ、一つひっかかることがある。ルートのB案というものを前提に考えてきたがそこがおかしい。この検討委員会の様々な意見の基本は、長野方面から高速道路が来ることへの長

年の願望。特に長野県側の方は悲願であったと思う。その活用について検討委員会で議論してきたが、B案が非常に固定した発想となっている。A案ができて反対運動が起こってB案に変わった。この辺がおかしい。最初からB案ありきという感じ。高速道路が景観、自然、あるいは農業も含めてプラスになることは100%ないと思う。

中部横断自動車道の整備によるメリットをどう引き出し、デメリットをいかに抑えるかという観点から、このルートについて、原点に戻り国土交通省に検討して頂きたい。高速道路が通れば景観はだめになる。10mくらいの土手・壁ができればその南北両側50m、100mは土地が死んでしまう。景観を守るためにはC案（国道141沿いの谷底を目立たないように走り須玉に繋ぐルート）があってもよいのではないか。

本当にこの地域の景観を生かそうということであれば、思い切って発想の転換が必要。目先の利益でB案が決まってしまうと子孫に大きな禍根を残す。

高速道路は必要だと思うが、莫大な予算を使える体力が日本にあるのか。

来年度からの検討でデメリットをいかになくすかという根本的なところをお願いしたい。

（委員長）いろいろな要因があり、現在のB案になっているのだと思うが、その理由を説明する責任はあるのではないか。

（事務局）中部横断は必要との前提で皆様に議論して頂いている。前回の委員会でも141改良案など所掌外の意見を頂いている。そういった意見については、説明する場というものも含め国と一緒に検討し、対応していきたいと考えている。

（委員）高速道路の必要性は私も認めている。ただこのやり方、順番が逆じゃないかと思う。先にビジョンを策定してから、高速道路をどこに通すか決めるべきではなかったのではないか。あまりにも受け身過ぎるのではないか。もっと積極的に、どうせできるのならもっと一番いいのはどうだという検討。B案がほぼ決まったような雰囲気を作ってしまう、ビジョンを検討することはしっくりこない。

(事務局) ルート帯がほぼ決定的な中で、北杜市として遅れがないよう考えを取りまとめていくために、この委員会があると理解して頂きたい。

(委員) B案が決まってどうするか検討するのでは意味がない。どうせやるなら最初から順番を変えてやるべき。

1kmというのはどうでもよいこと。明らかに景観には良くない、農業にとっても良くないということがわかれば、根本的に関係のない谷底を通せばよい。国交省の案ありきではなくそこを抜け出して欲しい。

(事務局) 要はB案以外のものがあるのではないかということ。そういう検討も必要だということですね。

(委員) まちづくりビジョンをやってからA案・B案・C案をやるのが本来であり、この地域のためではないか。

(事務局) ルートについては当然様々な条件を精査し決定されていると思われる。今示されているB案に勝るルートはないものと判断している。

納得いかないという意見に対しては、検討委員会とは別に説明する場を設けていきたい。

(委員) 納得できないというよりも、ビジョンが先ということ。あまりにも市は受身過ぎる。B案をいただき、どう活用するかということではないと思う。

(委員) 私はAもBも関係ないと思っている。委員会の目的は、中部横断道ができてからでは遅いため、できる前にプランを積み上げておくこと。今回の5回の委員会のまとめは、中部横断道ができたらどういうふうに地域を活性化するのかということだけ。

(委員) 中部横断道ができたときに、この地域をどういうふうに活性化させるか、環境にどういうふうに影響を及ぼさないような手法でやっていっていただくか、そういうことを述べる意見の場として委員会に出席しているという認識である。ルートは認識がなく会議に出席してきた。

(委員) 今のところ一番有力なのはB案と決まっている。我々の立場としては、今後、ルートを引く条件を頂きたく、この委員会に参加させて頂いている。

(委員長) 景観や環境を総合的に考えても一つの答えはおそらくでない。どこを通しても作る以上環境・景観に影響がある。作るという中で今後の道路プランの中での条件について情報を集め、国土交通省に提供していくことがと

ても重要である。

(委員) わかるけど出発がおかしいと思う。

(委員長) 平成22年からいくつかの案を検討してきたもの。この委員会の所轄外になるが説明はしっかりしてもらいたい。当然我々委員にも示していただくことも必要。

(委員) ワークショップには、女性、若い人、学生も入れて欲しい。そういう力を集めて、作られたベースを追認するのではなく皆で作り上げて生きたい。

(委員長) 2点ですね。女性、ワークショップの中身。

(事務局) 人選については反映する形で取り組んでいきたい。

(3)その他

(事務局) 所掌外の取り扱いについては、次回以降、ご報告させて頂く。委員の交代については、今後の進め方を含め、書類を事務局で作成し、引き継ぎが行えるように準備する。

- ・事務局（建設部長）より挨拶

4 閉会 事務局

会議終了 午後3時30分